

学校情報

①学校の概要、目標及び計画

学校名	設置年月日	校長名	所在地・連絡先
東京みらいAI&IT専門学校	令和2年11月24日	本多 浩一	〒113-0034 東京都文京区湯島2丁目12-2 (電話) 03-5802-7270
設置者名	設置年月日	代表者名	所在地・連絡先
学校法人 三幸学園	昭和60年3月8日	鳥居 敏	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-6151
学校の教育・人材養成の目的			
本校は、システムエンジニア、プログラマー、WEBデザイナー、クリエイターとしてIT関連業界に従事しようとする者に必要な知識技能を教授し、専門的職業人となるべき人材を養成するため、学校教育法に基づき専修学校教育を行うこととする。			
沿革	http://www.sanko.ac.jp/about/history/		

②各学科等の教育

学科	修業年限	入学定員	収容定員
AIプログラミング&CGクリエイター科	2年	80人	160人
WEBクリエイター科	2年	40人	80人

<客観的な指標の算出方法>

客観的な指標の算出方法
全履修科目の評定（5点法で示されたもの）の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回（期末ごとに）一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。

<卒業要件について>

卒業要件	
本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業要件単位数は、31単位に当該学科の修業年限相当数を乗じた単位数以上とする。	
AIプログラミング&CGクリエイター科	ITエンジニア・AIクリエイターとして、「IT知識・スキル」だけでなく「業務知識」や「コミュニケーション力」も併せ持った次世代のIT人材の育成
WEBクリエイター科	

<取得可能な資格について>

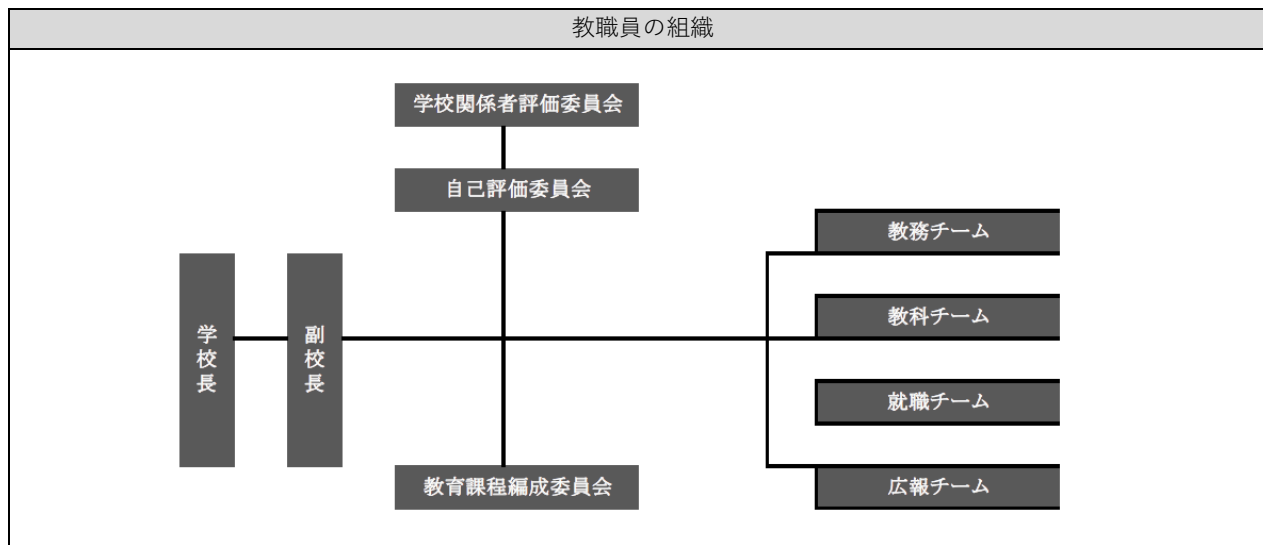
取得可能な資格	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-ai/jobdata/skill.html
---------	---

<卒業後の主な進路について>

就職実績	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-ai/jobdata/reference_book.html
------	---

③教職員

専任教員	9人
兼任教員	1人
事務職員	4人



<教職員の専門性について>

名前	専門分野	資格・職歴等
蓮沼 克也	ハードウェア・サーバー全般（HPE等）	カスタマーエンジニアとして6年従事。基本情報技術者、LPIC Level1&2&3、Vmware Certified Professional、AZ-900 所有。
藤沼 幸士郎	WEBアプリケーション全般（HTML等）	デジタルコンテンツスタッフとして4年従事。デザイン・動画編集のフリーランス、講師として3年従事。
牧瀬 諒	プログラミング全般（Python,C等）	自動運転車両開発や、支援技術的な特徴を有したハードウェア、ソフトウェアのプリセールスエンジニアとして3年従事。
大谷 侑香	プログラミング全般（Java等）	教育コンテンツ開発に携わったのち、企業向け新人Java研修のメイン、サブ講師を1年経験。専門学校のJava講師として1年半従事。
佐藤 真菜	プログラミング全般（Java等）	学習管理システムや企業アプリ、決算系アプリなどのシステムエンジニアとして1年半従事。その後社会人向けIT研修の講師を経験。

④キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育への取組	http://www.sanko.ac.jp/tokyo-ai/jobdata/support.html
実習実技への取組	AI・IT業界においては今後一層の技術革新や発展が見込まれる分野であり、基礎技術とその応用技術をしっかりと身に付け、かつ長く業界で活躍することができ業界の発展にも繋がっていく人材を育てるために、実習実技の授業にも力を入れている。本校教育理念である「技能（知識・技術・理論）」と「心（人間教育・対人基礎力）」の調和をもとに60～80時間程度の現場実習を実施。授業にて企業による評価をもとに、振り返り・就職対策を行う。実技授業においては企業等と連携することで、より早く現場の変化や課題に対する対応及び教育への反映をし、本校そして業界の求める「人材の育成」に貢献できると考える。

⑤様々な教育活動・教育環境

学校行事	http://www.sanko.ac.jp/tokyo-ai/schoolguide/year.html#content2
------	---

⑥学生の生活支援

生活上の諸問題（中途退学、心身の健康）への対応
担任制を取り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。

⑦学生納付金・就学支援

学生納付金	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-ai/guidelines/2024/guideline_01.pdf
就学支援	http://www.sanko.ac.jp/tokyo-ai/guidelines/

⑧学校の財務

事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
-------	---